MMH HISTORY 001

1858年(安政5年)5月7日「お玉ケ池種痘所」開設

三井記念病院のルーツは江戸時代、日本近代医学の発祥とされる「お玉ヶ池種痘所」にさかのぼります。種痘所は現在の東京都千代田区岩本町2丁目に開設され、東京大学医学部発祥の地とされています。当時、外国からの医術を禁止していた幕府を動かし、種痘所設立へ導いたのは、伊東玄朴や大槻俊斎らの蘭学医たちの熱意であり、天然痘に苦しむ多くの小児が救われたといいます。その後、種痘所は東京帝国大学医学部付属医院に発展し、本郷の医学部付属医院を第一医院、神田和泉町にあるものを第二医院としました。三井記念病院の前身である三井慈善病院は、東京帝国大学医学部付属第二医院跡地に設立されました。(続く)



お玉ヶ池種痘所跡の

原点にあり続けるのは、 患者と医療者が 「ともに生きる」こと。



〒101-8643 東京都千代田区神田和泉町1番地 TEL:03-3862-9111(大代表) http://www.mitsuihosp.or.jp/





医療コミュニティーの必要性

― グランドオープンを迎え、「新生 三井記念病院」として新しい歴 史を紡ぎ始めましたが、高本院長は新しい三井記念病院像をどの ように描いておられますか?

三井記念病院は、三井"慈善"病院として開院した起源を忘れてはならないと思います。時代が変わっても、"慈善"つまり"患者さんのための病院"であることが、三井記念病院の本質であり、継続していかなければなりません。その上で、新生三井記念病院は「地域医療レベルの向上」を目指していきます。地域中核病院としての役割を果たすとともに、医療技術・診療実績・患者満足度などあらゆる面で日本のトップレベルの病院を目指し、尽力していきたいと思います。

これには登録医をはじめとする地域医療機関の先生方と"本音"で話し合い、より良い関係を築いていくことが大変重要なことです。また、医療の主役である患者さんにも、現在の医療連携にみる病院と医療機関との医療機能の分化について、ご理解いただかなければなりません。

「地域医療レベルの向上」という目標を実現するには、将来的に "医療コミュニティー"となる研究・コミュニケーション施設の必要性を感 じています。例えば、「三井医学研究所」や「三井医療経済研究所」 といった施設でしょうか。"医療コミュニティー"には各分野の専門家が 集まり、医療技術や医療連携などについて議論し、ここから世界に向 けて情報発信していきたいと思います。

地域医療機関との強固な連携体制

― 現在、医療のあり方はどんどん多様化していますが、その中で 三井記念病院が普遍的に継続していくべきことは何だとお考えで すか?

三井記念病院は高度急性期病院として、地域のさまざまな機能を持った病院や医療機関と連携し、それらの病院群の中核として、地域医療を盛り立てていく役割があると考えています。当院だけでは、地域医療に求められる一般診療や在宅診療、患者さんやそのご家族へのケアを普遍的に提供することは不可能です。多くの大学病院が集まる東京都二次医療圏の特異性を考慮しても、この地域にあった地域医療連携のカタチがあるはずです。"医療コミュニティー"の拠点病院として、登録医の先生方をはじめとする地域医療機関との連携を密で強固なものにし、積極的な情報発信を続けていくことが必要です。

― 病院施設の全面建替えが完了し、病院のさまざまな機能が充 実しました。稼働状況はいかがでしょうか?

医療提供の面では、建替えを機に救急センターを拡充し、二次救急医療機関としての機能を果たす体制を整えました。「断らない救急医療」をスローガンに、一日約20件近くの救急搬送を受け入れています。地域の皆さんにとって、近隣に救急病院があるという安心感はとても大事ですので、今後も救急医療の機能充実を図っていきます。

また、今回の建替えで外来棟7階に350人を収容する多目的ホールをつくりました。完成から1年半が経過しましたが、院内外を対象にコンサートや地域医療セミナーなどの各種イベントを開催しています。セミナーを受けられた方からは、「自分の体について真剣に考えるきっかけ

になった」という声をいただきました。多目的ホールでのイベントが地域の架け橋となり、"医療コミュニティー"となる研究・コミュニケーション施設の先駆けとして、三井記念病院の顔となってくれたらと願っています。

― 三井記念病院はこれまでも東京・城東エリアの基幹病院として の役割を担ってこられましたが、今後の課題は何でしょうか?

三井記念病院は、2011年4月に「東京都認定がん診療病院」の 指定を受けました。今日の医療技術は日々進歩し、日本は世界に誇る 長寿国になりましたが、依然としてがんは日本人の死因のトップであり、3人に1人の方ががんで亡くなられています。

残念ながら、現在の医療技術において進行がんを完治させる方法はありません。こうした状況から早期発見・早期治療に導くことは最優先課題であり、内視鏡、抗がん剤、放射線などの効果的な治療法を積極的に取り入れ、診療科の垣根を越えた集学的治療を推進していくことが重要であると考えています。

"ともに生きる"を実現するための コミュニケーションツール

― 最後に、この三井記念病院の広報誌「ともに生きる」が、患者さんや地域医療機関の先生方、病院スタッフにとってどんな存在になって欲しいと思われますか?

"ともに生きる"という言葉は、私が医師になって感じたこと『命の力の偉大さ。医師が治しているのではなく、患者さんが自ら治っているんだ』という真実から出た言葉です。

そもそも医療にとっての主役は患者さんであり、われわれ医療者は 患者さんの持つ力をアシストする存在に過ぎないことを考えれば、 チーム医療は医療者側のチームだけでなく、患者さんも含めたチーム でなければいけないのです。同じチームにいるからこそ、患者さんにも 相応の責任を持っていただく必要があり、ご自身の病気や身体につ いて学んでもらいたい。そして、患者さんには「治してもらうんだ」では なく、「一緒に治していくんだ」という強い気持ちをもっていただきたいと 思います。その意味で、この広報誌「ともに生きる」は、患者さんと地域 医療機関の先生方、そして三井記念病院のスタッフとの大切なコミュ ニケーションソールであると考えています。

「ともに生きる」では、最新の治療法などを分かりやすく解説していますので、患者さんご自身の病気や身体について知る一助になれば幸いです。患者さんと医療者との良い関係を築くためのツールの一つとして、皆さんに育てていただきたいと願っております。

「ともに生きる」の「とも」はひらがなですが、これには色々な意味があります。共同や共有の「共」、提供の「供」、知恵の「知」、友達の「友」など。患者と医療者という関係だけにとどまらず、人と人とが"ともに生きる"という願いがこのタイトルには込められています。



「ともに生きる」ロゴマーク

表紙のロゴマークは、患者と医療者が「繋がる」をキーワードに、 やわらかな四角をモチーフにして作られました。 ロゴのやわらかな曲線は上下左右の幅を決めず、患者と医療者 との間にある信頼関係の無限の広がりを表しました。 特徴的な「生」の文字は、「生命(いのち)が持つ治癒力の力強 さ」を表現しています。

がんに立ち向かう

2011年4月1日、三井記念病院はこれまでのがん治療 における手術、放射線治療、化学療法などの実績が 評価され、東京都より「東京都認定がん診療病院※」 の指定を受けました。

これまで以上に、患者さんとともにがんに立ち向かって いけるよう、広報誌「ともに生きる」では、がん特集を 企画しました。

がんについての正しい知識を身につけ、早期発見・ 早期治療に取り組んでいきましょう。

※東京都認定がん診療病院とは 都民に高度ながん医療を提供するため、国が指定するがん診療連携拠点病院と同等 の診療機能を有する病院を「東京都認定がん診療病院」として、東京都が独自に認定

要京都图动性制导引

がん地域連携クリティカルパス

東京都では、「東京都医療連携手帳」の運用を進めています。 五大がん(肺がん・胃がん・肝がん・大腸がん・乳がん)を対象 に、術後5年ないし10年先までの診療計画をまとめた手帳で、 受診時に持参することによって、どの医療機関でも治療情報を 共有できるほか、チェック項目を設けて、経過の自己管理が簡 単にできるようになっています。

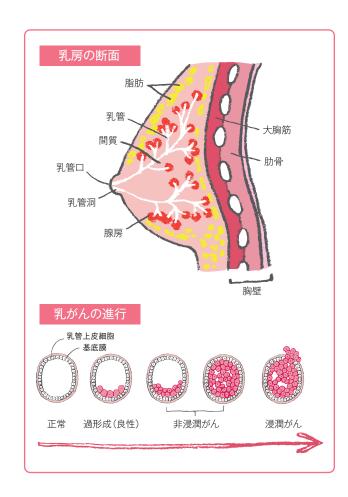
乳がん

現在、日本人女性のがん羅患数でもつとも多いのが乳がんで、年間 4~5万人の方が新たに乳がんと診断されています。

発症年令は50歳前後がピークですが、成人女性であれば乳がんに かかる危険があると自覚しておく必要があります。

人間の体は細胞からできています。がんは細胞遺伝子が異常増殖 して細胞のかたまりとなったもので、ホルモン環境、食事、飲酒、肥 満、遺伝子異常などのさまざまな要因が関与します。

乳がんは乳腺組織のうち、主に乳管上皮細胞(乳管の内側)が異 常繁殖して発生する悪性腫瘍です。



Interview 福内 敦 医師

1957(昭和32)年 東京都生まれ

1982(昭和57)年 筑波大学医学専門学群卒業

三井記念病院(研修) 1987(昭和62)年 東京女子医科大学内分泌外科学教室 1990(平成2)年 米ミシガン大学内分泌外科学 1991(平成3)年 三井記念病院乳腺内分泌外科

1992(平成 4)年 三井記念病院乳腺内分泌外科科長 2011(平成23)年 三井記念病院地域医療部部長

年々患者数が増加。 卵巣ホルモンの働きが影響

― 乳がんにかかる患者さんは全国的に増加傾向にあるとのことで すが、三井記念病院ではいかがですか?

当院では1990年までは年間100例以下でしたが、2004年以降は年間 200例を超えるようになり、年々増加傾向にあります。患者さんの年令は40 代後半から50代が一番多く、全国平均と変わりません。

近年の傾向では、乳がんの病期(ステージ)が早期である方が全体 の50%程度を占めるようになりました。病期が早期である場合は自覚症 状がほとんどありませんので、日本でも乳がん検診や自己検診が浸透し てきたのだと思います。

― 増加の背景には何があるのでしょうか?

生活環境の変化や日々の食事が高たんぱく・高カロリー・高脂肪になっ てきたこと、また晩婚少子化などが関わっていると考えられています。

がんに関する原因を特定することはできませんが、乳がんはホルモン に影響されるがん種ですので、卵巣ホルモン(エストロゲン)が働く機会 が多いとかかりやすいという結果があります。エストロゲンは排卵前後に 多く分泌され、生涯の月経期間が長かったり、月経周期が短いとエストロ ゲンの刺激を多く受けることになります。つまり、出産経験がなかったり、初 産が遅い、また初潮が早い人、閉経が遅い人は、生理の回数が比較的 多くなるため、乳がんのリスクが高くなります。

自己検診で発見できる唯一のがん

-- 乳がんにならないためにできることはありますか?

がんには完全な予防策はなく、「これをやれば(やらなければ)がんに はならない」ということはありません。しかし、早期発見・早期治療に力を 入れることで、がんで亡くなるリスクを減らすことができます。

乳がんで亡くなる方は意外と多く、全国で一年間に約1.5万人にの ぼります。早期発見で治る病気である反面、乳がんは放っておくと死に 至る病気です。しかし、乳がんは自分で発見できる唯一のがんですの で、積極的に自己検診を行ってください。きちんと自己検診すれば、1cm 程度のがんを見つけることができます。

皆さんは毎日お化粧をするとき、鏡を見てお肌の状態を確認しますよ ね。今日は化粧ノリが悪いなと思った時、どうしてそれが分かるんでしょ

●乳がんのリスク要因

- 出産経験がない
- ② 初産年令が遅い
- ❸ 授乳 歴がない
- ❹ 閉経後、ホルモン補充療法をした
- ⑤ 閉経後、肥満になった
- 6 血縁に乳がん患者がいる

うか?それは「いつもと違う」と感じるからですよね。乳がんも同じで、普 段の状態を知っていれば、小さな変化を見落とさないものです。「私が 乳がんになる訳がない」という思いを捨てて、自己検診する習慣をつけ てください。「いつもと違う」という感覚が早期発見に繋がります。また、 定期的に会社や自治体の健康診断などで乳がん検診を受診するな ど、早期発見のチャンスを積極的に得るようにしてください。

― 乳がんの治療方法にはどのようなものがありますか?

自己検診や乳がん検診などで異常を発見し、専門医を受診したら、ま ず①視触診②画像診断③病理検査を行ない、乳がんであるかを判断 します。乳がんであった場合は、④画像診断(精密検査)で立体的にが んの広がりを調べ、乳がんの性質や特徴を考慮し、どのような治療が適 しているか判断します。

●乳がん検査の流れ

1 視触診

乳がんの可能性を探る

- ●しこりの有無
- しこりがある部分の皮膚の赤み等 その他のチェック
- わきの下のリンパの腫れ



2 画像診断

がんのできている位置、大きさ、数、広がり等をチェック

●超音波検査

● マンモグラフィ検査

●乳頭からの分泌物



3 病理検査

がんの可能性、性質、種類を調べる

●細胞診あるいは組織診あるいは切開生検



4 画像診断(精密検査)

立体的にがんの広がりを調べ、どのような治療が適しているか判断する

- ●乳腺専門コイルを使ったMRI(磁気共鳴画像診断)
- MDCT(多列検出器コンピュータ断層撮影)

乳がんの治療法には3つあり、がん病巣を取り除く手術療法、手術後 に残存しているかもしれないがん細胞を死滅させるための放射線療法、 そして全身の見えないがん細胞を対象とした薬物療法があります。

乳がんは乳管に発生するがんで、最初は乳管の中で増殖し、時間の 経過とともに乳管の外に広がっていきます。この状態のがんを「浸潤が ん」といいます。乳管から出たがん細胞は、近くのリンパ管や血管の中に 入り込んで全身にがんを広める恐れがあります。その場合には、がんの 性質や進行度に応じて薬物療法を行います。

ボディイメージの変化による 心理的負担を最小限にしてあげたい

― 手術しても乳房は残せるのでしょうか?

「乳がん治療といえば乳腺全摘出術」というのは20年以上も昔のことです。現在は早期の乳がんであれば、乳腺部分切除が標準的治療となっています。

当院では乳房温存療法を1982年から行ってきました。日本で乳房温存療法が広く普及したのが1990年以降ですので、早くから取組んできたことが分かります。当院では約60%の方が乳房温存療法です。

しかし、摘出すべきがんの拡がりが大きい場合は、乳房切除(全摘)を行います。乳房切除による患者さんのボディイメージの変化は心理的 負担が大きいため、その場合は乳房全摘後に乳房再建手術を勧めて います。

患者さんとともに

--- 術後のフォロー体制はありますか?

乳がんの術後ケアはとても重要です。わきの下の部分を手術した場合、術後に腕が上がりづらいなどの症状やリンパ浮腫を発症する可能性があるので、乳腺外来に予防法の指導やリンパマッサージを行う「リンパ浮腫外来」を設置しています。院内にはがん相談支援室があり、がん専門看護師や乳がん看護認定看護師を中心に、患者さんの治療法の意思決定サポートやメンタルケアなどに対応しています。その他、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカー、臨床心理士など多職種で構成する緩和ケアチームが、身体的な苦痛症状のみならず、病気に伴うつらい気持ち、療養の場の相談といった幅広い内容について、患者さんの意思を尊重しながら解決していけるようサポートしています。

加えて、過去に当院で乳がんの治療を受けられた患者さん達との交流活動があります。患者さん目線で書かれた冊子の発行や患者さん同士の交友を深めるお茶会などを定期的に開催しています。



MRCミツイリボンクラブが制作した冊子 「BE HAPPY」。患者同士の目線で書 かれた励ましの言葉が詰まっている。

MRCミツイリボンクラブ 三井記念病院を基点に活動する、患者 による患者のためのサポート組織。 患者さんには、乳がんになっても「私らしく」生きていただければと願っています。

患者さんの負担を軽減する方法

― 最後に注目されている最新の治療法を教えてください。

局所治療に関して「どうにか切らずに治す方法はないか」と希望される方もいますので、ラジオ波治療や冷凍凝固治療に注目しています。本当に安全なのか?長期的に効果があるのか?という臨床試験の評価が定まっていないこともあり、当院では対応していませんが、その進展を望んでいます。

放射線治療は通常25~30日間毎日通院しなくてはなりませんが、その期間をもう少し短くし、患者さんへの負担が軽減される方法に注目しています。

もうひとつは、「ハーセプチン」などの分子標的薬による治療です。最近では、新しい分子標的薬が次々に利用できるようになってきました。全てのがんに有効ではありませんが、がんの性質や特徴を逆手にとって、特定のタイプをねらいうちする薬です。通常の抗がん剤に比べて副作用が少なく効果が期待でき、患者さんにやさしい治療法といえます。

がんの治療は、乳がんに限らず精神的にも肉体的にも、患者さんへの負担が軽いとはいえません。少しでも患者さんの負担が軽くなる治療法を見つけていけたらと考えています。

「乳がんについてこれだけは 覚えて欲しいポイント」

福内先生が 解説

- ■「自分が乳がんになるわけない」とは思わないで!
- 乳がんは女性のがん第1位。でも早期発見し適切な治療を受ければ、90%以上の人は治ります。
- 放置していると、全身に転移する可能性が。転移してしまったら死に至る危険性があります。
- 普段の自分の体を知っておくことが重要です。
- ■自己検診の習慣と定期的な乳がん検診の受診が一番の予防策!
- 乳がんと診断されても、現在はさまざまな治療法が開発されています。 主治医とよくコミュニケーションをとって、あきらめずに治療に専念してください。



教えて! とも多さん

01

ともこさん

紹介状

正式名称は「診療情報提供書」。医師が患者さんを別の医療機関へ紹介するときに用意します。 単なる紹介ではなく、これまでの患者さんの病状や検査・治療経過がコンパクトにまとめられていて、 重複検査を回避することで患者さんの負担を軽減したり、医師間での情報共有に利用されます。

Aさん 「おなか痛いな…。風邪かな…。 近くの病院に行って診てもらお う。もしかしたら悪い病気かも しれないから隣町の大きな病 院に行こうかな?でも大きい病 院ってすぐ診てもらえないって 聞いたような??とりあえず行っ てみよう。」



お腹が痛くて、三井記念病院に来たAさん。三井記念病院に来たのは今日が初めてです。「何科を受診すればいいんだろう??」 とりあえず、外来棟1階の受診相談の方に尋ねました。

Aさん 「あの〜、お腹が痛い のですが何科を受診 したらよいですか?」

受付の方「紹介状はお持ちで すか?」

Aさん 「紹介状って?!」



23.8%-1

「病院の診療には基本的に 紹介状が必要です」

病院の診療には、基本的に「紹介状」が必要なのです。三井記念病院でも初診の患者さんには紹介状をお持ちいただくようお願いしています。紹介状について説明する前に「病院」と「診療所」の違いについて解説しましょう。

●「病院」と「診療所」の違い

病院というと、大学病院も総合病院も町のお医者さんも診療施設はみんな「病院」というイメージがありますよね。でも厳密には病床数20床以上が「病院」、19床以下が「診療所(クリニック)」という区別があります。

まずは、日頃から健康相談や病気の初期治療などを相談している 地域の診療所で受診し、そこでの診断が精密検査や専門的治療が 必要であるとされた場合に病院へかかるというのが基本となります。

その際、診療所から紹介先の病院宛に作成されるものが「紹介状」です。紹介状には、患者さんの病状や検査・治療経過が記載されているため、重複検査を回避したり、病院での診療をスムーズに行うメリットがあります。また、初診時の保険外併用療養費*がかかりません。

多くの病院では、患者さんが集中しないよう、また重症の患者さんの診療がおこなえるよう、このシステムを取り入れています。

※保険外併用療養費とは

※除びが所用強重には 地域の医院・診療所と病院との機 能分担を進めることを目的として、 厚生労働省により制定された制度 です。三井記念病院では保険外併 用療養費制度に基づく特別の料 金として、初診料にプラスして 4,200円(税込)を自費でお支払い いただいています。



まずは診療所で 発診

●紹介状に記載される内容

- ①患者さんの基本情報
- ②紹介の目的(詳しい検査や入院、手術、退院後の経過観察など)
- ③現在の主症状や病名
- ④患者さんの病状や治療経過(症状の発生や検査·治療の経過など)
- ⑤現在の投薬内容
- ⑥その他、備考(アレルギー歴や患者さんの背景など)

次回の「教えて!とも子さん」は**「かかりつけ医」**についてです。お楽しみに!



ともに生きる vol 01

だったけど、振り返ると幸運でも の外構が整って、いよいよグランド また光栄でもあったと思う。 数えると8年かかっています 工事期間は約5年、設計時期 く担当 ひとつのプロジェクト しは初めて

かったよね。入院棟と外来棟がそれ れ完成し、次に駐車場や中庭など

新しい病院を感慨深げに歩く、松尾次長(左)と 小林課長(右)

思いだったよ。 ど、何とも言えない さった人へのお披露目でもあるから、 とにかく想定外のことに対処できる ように何度もシミュ よ。当日は除幕式の司会をやったけ 僕はあの式典の後 長年|緒に

松尾

仕事って、確認の連続、なんだと

松尾 まる機会だし、支援、協力してくだ ジェクトに関わった方々が改めて集 して本当によかったです そうだね。式典はこのプ

松尾次長、少 グランドオー

小林さんこそ、新 しゃない?

「卒業式」でするにとってこの日は、

8 年

付き合った仲間と迎えた

曲

豆

建設部 課長

反映-

年に1

機能が果たせるか?!とハ 面を担当して プン日は、ちゃんと医療 僕は建替計画で いたので しい病院の設 小林さんは ラハラして

僕は、「ライフワ

クが仕上がった日」かな

小林

-プン記念式典もつつがなく無事

ンの成功があったんだよ。

ね

ど、それを一つずつ解決しながら形に

ね。色々と難しいこともあるけ

モノを創るって本当に楽

していく。この楽しさが

あるから、ど

んなことにも耐えられるんだと思い

ら、グ ブか

尾

智 介

建設部 次長

替プロジ

院棟のオ-式典当日よりも入院棟がオ 計監理ご苦労さまでした。

役割を担っておられま 関する院内の要望を聞き入れ、設計 施工者と調整する設計監理 ープン記念式典

式典などの責任者を担当されまし 小林課長は建替えのハ し時間が経ちま

外部関係者との利害調整や三井グ 松尾次長は主に建替えに関する - プ対応、グランドオ-ープン記念 -ド面に

「あの日」の思い出を語っていただきます。彼らの体験した三井記念病院での雑種のスタッフが働き、病院のスムーズな運営の一翼を担っています。

あ

記念事業全面建替計画」を建設部と して担当されたお二人に語っていた

今回は「三井記念病院1







第

診療活動を続けながらの建替えだつ

たので、患者さんの動線変更には苦

口

三井記念病院には、医師、看護師以外にもさまざまな グランドオープン記念式典

や建設資材の高騰など、色々なこと せてたつけ。それに、途中で設計変更 全診療科から意見を聞いては設計事 とんど毎日設計事務所と打ち合わ 務所や施工会社と調整する、といっ た具合にね。あの頃の 設計の頃も大変だったよね 小林され んは、ほ

来るだけ応えたかったんです 者さんや職員に不便な思い だから、意見をなるべく聞き入れて しまうことになる。その期待には出 という気持ちも強かったね。 らの寄付で成り立って してあげないと、40年間ずっと患 それに建替資金は三井グル こんなに大規模な建替えは40 色々ありましたが、グランド 度あるかないかですからね ブの期待にも応えなけれ いるか よね。

松尾

松尾 が結集したからこそ、グランドオ 間にわたつて密に打ち合わせを重 慨深かったですね。みんなとこれでお とりの。良いモノを創る。という思い つくる機会があったら、もっとうま 別れになるのかと: お酒を酌み交わした時は、本当に感 きたから、同じメン きる自信があります きなかったと思う。関係者一 本当に関係者の協力なく きた設計者や施工者の方々と これだけ長期 よ(笑)



を担当された

三井記念病院の 登録医紹介

三井記念病院では、地域医療機関との相互連携を一層密にし、医療を必要とする患者さんの ニーズに応え、適切で切れ目のない医療提供の実現を目指しています。このコーナーでは、 三井記念病院の登録医としてご協力いただいている先生方を紹介していきます。

蛯名診療所

第1回目は、蛯名診療所の蛯名先生にお話をうかがいました。 蛯名先生は優しく面倒見の良い先生として 地元でも評判の方で、連日待合室は満室になるほどです。



蛯名 大介



E L: 03-3841-2412

●診療科目:外科·内科·整形外科·乳腺外科·訪問診療 ●診療時間:9:00~13:00、15:00~18:00

(土曜日は13:00まで) ●休 診 日: 木曜·日曜·祝日

― 先生が医師を目指されたきつかけは何 ですか?

父親と親戚のほとんどが医師だったの で、小さいころから「自分は医師になるん だ」と思っていたんでしょうね。この病院は 父親が開院したので、よくここで父の仕事 を見ていましたし、自分が他の仕事につくこ とは想像すらしなかったですね。

-- 先生の専門領域は?

乳腺外科が専門です。大学を卒業して外 科医局にいた頃、良く指導していただいた 先生に勧められ、乳腺疾患を選択しました。 その後、大塚の癌研究会付属病院に派遣さ れ、ますます乳がんの世界にのめり込んでい きました。当時、乳がんは今ほどの症例数も なく、多くの先生方に「なぜ乳がんを専門に するのか?」と聞かれましたが、「今後、乳が んは日本人女性のがん羅患数で最も多いも のになります!]と言ったのを覚えています。

― 医師として一番の思い出を教えてくだ さい。

おそらく日本で初めてだと思いますが、 "乳がんの集学的治療"を実践したことです ね。今から30年ほど前、癌研究会付属病院 から乳がんの責任者として大学に戻り、そ こで外科・内科・放射線科・病理の先生に声 をかけてチームを組んで治療にあたりまし た。私自身外科医でありながら、乳がんは内 科的な診療要素が多いと考えていました し、診療科の垣根を越えて治療にあたる集 学的治療の必要性を強く感じていました。 父の後を継いでからは、色々な症状をもた れた患者さんを診ますので、様々な分野の 学術講演会に出席したり、先輩医師と勉強 会をしたりと、乳がん以外のことでも自信が 持てるまで勉強しました。

― 地域医療連携についてどのようにお 考えですか?

地域医療連携は一人ひとりの患者さん が如何に無駄なく、より良い医療が受けら れるかを考え、病院と開業医(病・診連 携)、開業医と開業医(診·診連携)がより 密接に連携していくことが大切だと思いま す。私は特に救急患者さんを連携先病院 に紹介するときは、必ずそこの先生に電話 して患者さんの情報を共有しています。患 者さんを第一に考え、連携先の先生と本 音で話し合える関係が築ければ、医療連 携はもっとスムーズになるのではないで しょうか。

今回、三井記念病院の福内先生からの ご依頼で、"乳がん地域連携パス"に参加 することとなりました。私の専門は乳腺外 科ですが、それ以外の疾患でも"地域連携 パス"があれば積極的に参加していきたい と思っています。開業医として、連携先病 院の選択肢をたくさん持ち、患者さんに あった病院や先生を紹介していきたいの で、今後も色々な先生方とお話ししていき たいですね。

― 先生独自の取組みがあれば教えてく ださい。

かかりつけ医として、患者さん一人ひとり のデータファイルを作成しています。検査結 果や紹介先病院での診察結果をまとめ、手 書きで補足を書き込んでいます。会社の健 康診断の結果も持ってきてもらえれば解析し て綴じています。このファイルがあれば、疾 患のある患者さんが他の病院にかかること になっても、そこの先生も患者さんのこれま での経過がわかるじゃないですか。でもこの 作業は膨大で、診療後にかなりの時間を費 やしています…。患者さんの笑顔が見たいか ら出来る作業なのかもしれませんね(笑)

― 地域の患者さんへメッセージをお願い します。

ご自身の身体のことで何か心配なことや 疑問があったら、遠慮なく私に相談してくだ さい。専門的治療が必要な場合は、これま で築き上げてきた地域医療機関のネット ワークから、患者さんの症状に合った最も 信頼できる病院、先生をご紹介します(笑)



お父様の頃から使われている木彫りの看板

ともに生きる vol.01

の熱意。が加われば、どんなことにも 思うし、そこに個々が発する。仕事へ

三井記念病院で開催した行事やイベントをご紹介します

2011. 09

● 2011年9月15日(木)

三井記念病院グランドオープン記念式典挙行 「100周年記念事業建替計画」が全体竣工し、定礎式、三井記 念病院由来碑除幕式、神事、祝賀会が取り行われました。

● 2011年9月16日(金)

中丸三千繪ソプラノコンサート開催

入院患者さんを含む約250名の方が美しい調べと季節感を味わ

● 2011年9月17日(十)

総合防災訓練実施

神田消防署の指導のもと、秋葉原東部町会連合会と合同で、 多数傷病者受入・トリアージなどの合同訓練を行いました。

● 2011年9月28日(水)

第4回循環器地域連携の会開催

10 2011.

2011年10月15日(十)

グランドオープン披露会(職員・職員家族向け)挙行

● 2011年11月2日(水)

● 2011年11月3日(木)

第5回循環器地域連携の会開催

第1回三井記念病院市民公開講座開催[感染対策]

● 2011年11月5日(土)~6日(日)

がん診療に携わる医師に対する 緩和ケア研修会開催

● 2011年11月12日(土) 自衛消防訓練実施

● 2011年11月18日(金)

折り紙おじさんがやってくる!開催

入院患者さんを含む約15名の方が参加されました。

● 2011年11月19日(十)

第4回健康づくりセミナー(第6回腎臓病教室合同)開催

2011年12日3日(十)

三井記念病院医師同窓会

● 2011年12月6日(火)

第2回医療安全講演会開催

● 2011年12月15日(木)

大村みのりコンサート開催

● 2011年12月30日(金) 医療連携懇話会開催

2012.

● 2012年1月4日(水)

職員新年顔合わせ会

2012年1月18日(水) 第2回地域医療の会開催

● 2012年1月20日(金)

医療安全管理研修会開催

Schedule

01

2012年2月24日(金)

第2回医療安全セミナー

02 2012.

● 2012年3月9日(金)

乳がん地域連携講演会

● 2012年3月14日(水) 第3回地域医療の会

● 2012年3月26日(月)

ボランティアコンサート 「女声合唱団によるピアノアンサンブルコンサート」

Oick Up!





2011年10月15日(土)

グランドオープン披露会 (職員・職員家族向け)挙行

職員家族を含む約200名が、新しい入院棟や外来棟の竣工を祝しまし た。家族参加の医療体験コーナーでは、子供たちが超音波エコーや血圧 測定に挑戦し、父母の職場環境に触れました。会場では三井不動産創立 70周年を記念して同社から寄贈されたスタインウェイのグランドピアノが、世 界的ピアニスト・長瀬賢弘氏により演奏されました。





2011年11月12日(土)



自衛消防訓練実施

2011年秋の火災予防運動に伴う自衛消防訓練を、三井記念病院の中 庭などで実施しました。訓練は東京消防庁および神田消防署、丸の内消 防署、麹町消防署の協力のもと、神田消防団と三井記念病院自衛消防 隊の連携による実践的消防演習となりました。大規模地震の影響で外来 棟7階食堂から火災が発生したという想定のもと、消火活動や避難誘導、 はしご車による救出、消防庁レスキュー隊による患者救助の訓練が行われ ました。また小松部長(救急センター)が1日署長を務めました。





2011年12月15日(木)

大村みのりコンサート 開催

外来棟7階講堂にて、大村みのりさんによるボランティアコンサートを開催 しました。「心あたたまる、癒しのひとときを」をテーマに、クリスマスソングをは じめ、叙情歌などの演奏が披露され、入院患者さんを中心とする約140名の 方々が美しい調べと季節感を味わいました。大村さんの澄んだ優しい歌声 に、その昔に母親と歌ったあの頃を思い出し、一緒に口ずさんでいる方、目 に涙を溜めている方もいらっしゃいました。最後に大村さんと会場が「きよしこ の夜」と「ふるさと」を合唱し、患者さん達はやさしい時間を過ごされました。

三井記念病院からのお知らせです



マンモグラフィ検査について

三井記念病院と併設の総合健診センターでは、1年間に約5,500人の 方々にマンモグラフィ検査を行っており、皆さんに安心して検査を受けて いただけるよう日々努力しています。

三井記念病院は総合健診センターも含めて、NPO法人マンモグラ フィ検診精度管理中央委員会が認定する「マンモグラフィ検診施設画 像認定施設 |です。また、撮影を行う技師はすべて女性で、「検診マン モグラフィ撮影認定診療放射線技師」の資格をもっています。さらに読 影を担当する放射線診断医師も全員常勤で「検診マンモグラフィ読影 認定医師しです。

自治体から「乳がん検診のお知らせ」を受け取ったら、マンモグラフィ 検診を受診し、検診で異常が発見されたら専門医に診てもらいましょう。



病院ボランティアを募集しています

三井記念病院では、今後ますます地域に開かれた病院、地域から信 頼される病院となるため、病院ボランティアを募集しています。私たちは、 病院ボランティアの方々とともに、患者さんが安心して療養できる環境を 築いていきたいと考えています。

主な活動内容

●外来患者さんへのお手伝い

(病院正面玄関での受診手続きの案内、各階にて問い合わせや場所のご案内、車椅子の介助、その他)

●コンサートなどイベント開催時のお手伝い

応募条件

- ●20歳以上75歳未満の方で心身ともに 健康な方。
- ●病院ボランティアの趣旨にご替同いた だき、患者さんのプライバシーをお守り いただける方。
- ●月曜日~金曜日:午前8時30分~午後5 時で、原則として1年間、週1回、3時間 以上活動できる方。
- ●ボランティア保険に加入いただける方。



「患者さんのために」と思っていただける方ならどなたでも参加いただ けます。経験のない方でも安心して活動いただけるようお手伝いさせて いただきます。詳しい内容はホームページをご覧ください。

(http://www.mitsuihosp.or.jp/profile/sonota/chiiki.html) あなたの笑顔をお待ちしております。

2010年7月~2012年1月

皆さまから貴重なご寄付をいただきました

·個人	矢畑 喜子 様	神田 みのり様	伊藤 好美 様	菊間 邁 様	▶法人
森本 一彦 様	飯田 和男 様	奈良橋 みちゑ様	倉員 孝典 様	久米 年昭 様	財団法人三井報恩会
申谷 寛 様	宮原 克典 様	田中 昭 様	髙橋 正毅 様	根岸 英子 様	株式会社タスクオプチカル
予口 武男 様	秋谷 幸男 様	野津 ゆかり様	水谷 正信 様	辻 千星様	財団法人凸版印刷三幸会
 野 富美男 様	安藤 京子 様	杉浦 原子 様	矢崎 桂一様	野中 里江子 様	株式会社キングジム
k田 まつ様	木村 龍太 様	太田 巴 様	矢崎 康子 様	平野 信明 様	
長崎 桂一様	今野 敏和 様	奥田 弘子 様	鈴木 久 様	山田 冨久子 様	
長崎 康子 様	長谷川 正史 様	辻本 茂 様	金城 照江 様	北村 修史 様	
こ山 獄男 様	小林 久子 様	鈴木 正子 様	丸岡 勉 様	山川 光江 様	
林 基倫 様	中橋 文子 様	西田 洋子 様	達城裵亨玉伊相翰 様		
可山 正一様	渡辺 賢一様	福島 貴士 様	赤尾 和葉 様	匿名希望 27名	
長島 光代 様	矢崎 美代子 様	稲吉 彰 様	日向 義哲 様		(順不同

編集後記

昨年末、目に留まった「努力って楽しい」というコピーの広告。生きていく中で楽しく愉快 なことも沢山ありますが、その半面、厳しく辛い障害もたくさんあります。その障害を乗り越 え、楽しむことに昇華できれば「努力って楽しい」と、熟考された想いが垣間見えました。

今号の取材で登録医の蛯名先生、乳腺内分泌外科福内科長、髙本院長にお話をうか がいましたが、共通して口にされたのは「患者さんとともに」という言葉でした。"患者さ んには自分らしく生きて欲しい"と献身的に努力されている姿は、苦労ではなく、患者さ

んと一緒に障害を乗り越えていこうとする気持ちの表れなのかもしれません。蛯名先生 の「患者さんの笑顔がみたいからね」というお言葉と、「努力って楽しい」というコピー が二重写しにみえました。

患者さんと医療者とが、ともに努力しながら逆境を乗り越えていくことの大切さを、取 材を通して感じました。

(衣·松·町)

ともに牛きる vol.01